

特集 災害時に身を守る

近年、全国各地で大雨や地震による被害が多発しています。山形市上下水道部でも、雨水を河川へ流すための雨水管を整備する、老朽化した水道管を地震に強い管に入れ替える、といった対策を行っております。本号では、いざ災害が起きた時に身を守るための、**知っておくと役立つ情報**をご紹介します。

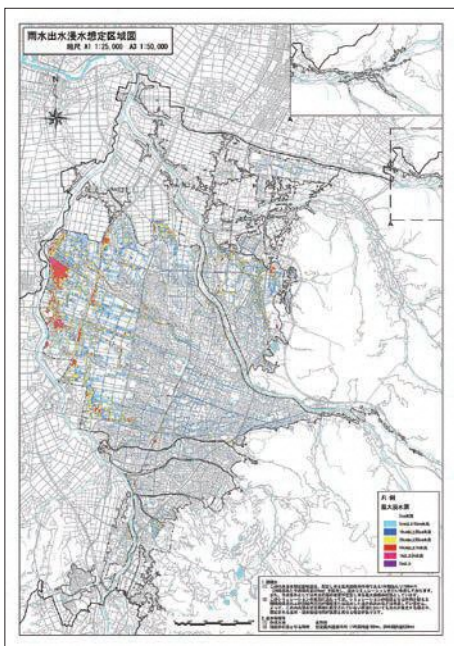
大雨の備え ～雨水出水浸水想定区域図を公表しました～



Q 「雨水出水浸水想定区域図」とは？

雨水出水浸水想定区域図は、水防法第14条の2の規定に基づき想定最大規模降雨でのシミュレーションを行い、雨水管などの施設が排水能力を上回り雨水を排除できなくなった場合に、浸水が想定される状況を表した図になります。

想定最大規模降雨は、1時間雨量150mmを想定しております。



Q 「雨水出水浸水想定区域図」はどう役に立つの？

自分の住んでいる場所や職場、また頻繁に訪れる場所が、どの程度浸水するおそれがあるかを事前に知ること、浸水の備えや安全に避難するために役立てていただくためのものです。

また、令和8年度に公表する洪水ハザードマップにも反映する予定です。

浸水深の影響についての目安

浸水深	歩行者	車
0.1m	歩行が困難になってくる	ブレーキが利きにくくなる
0.3m	子どもの膝がつかる	マフラーなどから浸水し、エンジンが停止する
0.5m	大人の膝がつかる	内側からドアを開けられなくなり脱出が困難になる
1.0m	大人の腰がつかる	車が浮いて移動が困難になる



区域図詳細はこちら



山形市上下水道部の浸水対策事業

●浸水対策事業の取り組み

道路上などに降った雨水や局地的豪雨などによって側溝や水路から水があふれ、浸水被害が発生することがあります。被害を軽減するために、山形市では雨水を円滑に河川へ排除する**雨水管**の整備を進めております。

●雨水管とは…

雨水を河川に排除するための管です。地面に浸透しなかった雨水は道路側溝や水路に流入し雨水管の中を流れて河川に排出されます。



●浸水対策事業の整備状況

令和4年度に事業計画変更を行い、事業計画面積を5,107haに拡大して整備を進めています。令和6年度末における整備面積は1,674ha(整備率32.8%)となっています。

■雨水整備状況 ※雨水整備率=整備済の面積／事業計画の面積

	R3	R4	R5	R6
①事業計画面積(ha)	5,085	5,107	5,107	5,107
②整備済面積(ha)	1,636	1,646	1,665	1,674
整備率②/①(%)	32.2	32.2	32.6	32.8

※整備状況は上下水道部ホームページでもご覧いただけます。

お問合せ／雨水施設建設室 TEL.641-1212 内線(624)

鉛製給水管布設替工事の助成制度のご案内

鉛製給水管を取り替える工事を行った場合に、**助成金**を交付しています。

より安心して水道水をご利用いただくため、鉛製給水管を取り替える工事を行った場合に、助成金を交付しています。令和8年1月より助成内容を変更し、給水装置のうち道路部分は上下水道部が取り替えの工事を実施します。一方、宅地部分の工事の費用に対して30万円を上限として助成します。なお、この助成金は予算に達し次第終了となります。

お問合せ／水道管路維持課 TEL.645-1177(内155、156)



詳しくは山形市上下水道部ホームページをご覧ください



気温が-4℃になったら
要注意!!

冬季の水道管の凍結を防ぎましょう

冬のシーズン到来前に水道管の凍結防止について事前に確認しておきましょう。水道管が凍結して破裂や破損してしまうと多額の修繕費がかかってしまいます。

●水道が凍りやすくなるのは…

一日中氷点下が続くときや長期間水道を使わないとき。

●凍結を防止するには………

ご家庭などにある**【水抜栓】**を閉めることで水道管内の水が無くなり、凍結を防止することができます。

水抜栓の操作方法

- 1.蛇口を開けて水を出す。
- 2.水抜栓を**最後まで**しっかりと閉める。
- 3.水が止まったことを確認し、蛇口を閉める。

※再度水を使用する場合、全蛇口が閉まっていることを確認し、水抜栓を**「開ける」**に止まるまで戻して使用してください。

もう一つの対策として

蛇口から鉛筆の芯(直径5mm)程度の水を流しておく水道管内の水が動くため、凍結しにくくなります。流した水は浴槽やバケツなどに溜めておき、再利用しましょう。※水道料金はかかりません。

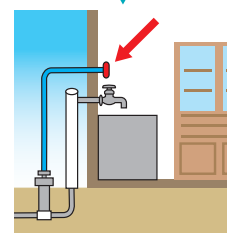
少量の水を出しておく



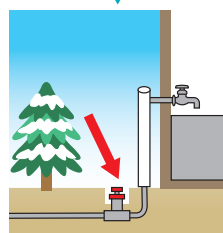
水抜栓のタイプと場所を確認しましょう!!

右図のとおり「**ハンドル型**」、「**電動型**」があり閉めることで水道管内の水が無くなります。

ハンドル型 (屋内操作型)



ハンドル型 (屋外操作型)



電動型



ハンドル型水抜栓の閉め方



※水抜栓の開閉はしっかりとハンドルが止まるまで!!

※水抜栓には、いろいろな種類があり設置場所も様々です。イラストは一例です。

もしも水道管が破損してしまったら…水道指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。詳細については「山形市上下水道部ホームページ」をご覧ください。

お問合せ／給排水センター TEL.645-1177(内141～146)



水道メーターボックス周辺の除雪のご協力をお願いします

多量の積雪により水道メーターの検針ができない場合、過去の使用実績等をもとに認定した使用水量で料金を請求させていただくことになります。また、検針ができないと漏水等による使用水量増加の発見が遅れ、**お客様のご負担が多くなってしまいます。**



メーターボックス

お問合せ／お客さまセンター TEL.645-1177(内121～126)

YouTube

山形市上下水道部
公式チャンネル



上下水道部公式ホームページ

山形市上下水道部

検索

https://suidou.yamagata.yamagata.jp



X (旧Twitter)
山形市上下水道部
(ID:@yamagatasuidou)

公式ホームページ内で
更新中!



山形市上下水道部

〒990-0836 山形市南石関27番地
TEL 645-1177(代表)

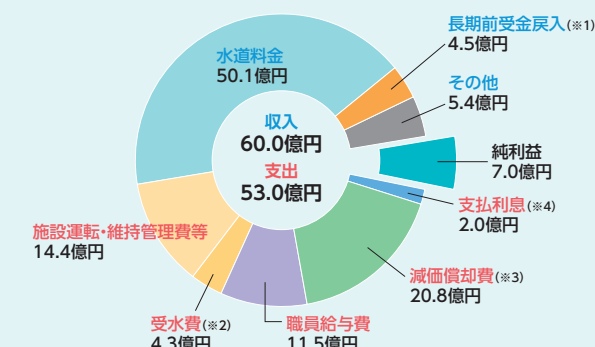


令和6年度 上下水道事業会計決算のお知らせ

水道事業会計

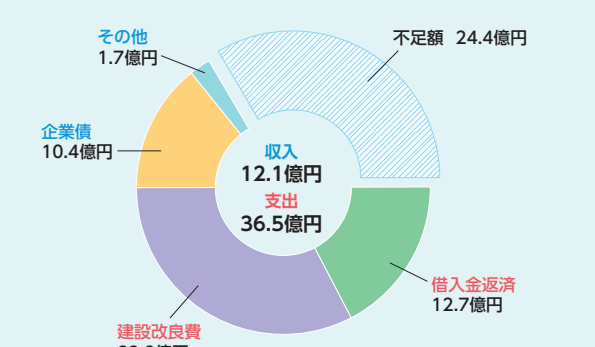
水道事業では、安全かつ良質な水道水の安定供給のために、施設の修繕・維持管理を行いました。また管路の耐震化など、災害対策の強化に取り組みました。

収益的収支(税抜き) (水道水供給のための収入と支出)



純利益は翌年度以降の借入金返済や施設整備のため積み立てます。

資本的収支(税込み) (施設を整備するための収入と支出)



不足額は純利益や減価償却費等の非現金支出により積み立てられた内部留保資金で補てんされます。

【用語の説明】

- ※1 長期前受金戻入……償却資産(※6)の取得・改良のために受けた補助金等の収益化分(非現金収入)
- ※2 受水費……山形県企業局から水を購入する代金

- ※3 減価償却費……施設の価値減少分
- ※4 支払利息……企業債等の借入に伴う支払利息
- ※5 負担金……山形県の流域下水道施設使用に伴う費用
- ※6 償却資産……固定資産のうち、毎年度減価償却を行うべきもの

主な事業

配水管の更新工事を行いました



地震に強い耐震管で更新

老朽化した配水管の更新に合わせて、地震に強い耐震管を埋設しております。令和6年度は約5.7kmの管路を更新しました。これにより、地震災害時においても安全安心な水道水をお届けできます。

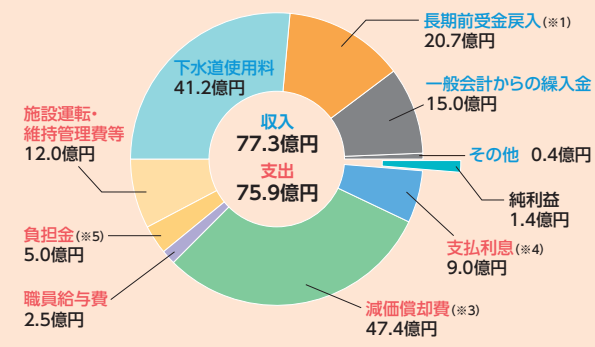
人口や水需要はいずれも減少傾向にあり、今後も経営状況がさらに厳しくなると予想されます。経営環境の変化に適切に対応し、将来にわたる安定的な事業の継続に向け、計画に基づく事業運営を推進し、安心してお使いいただける水道・下水道を未来へつないでまいります。

お問合せ／経営企画課 TEL.645-1177(内216)

下水道事業会計

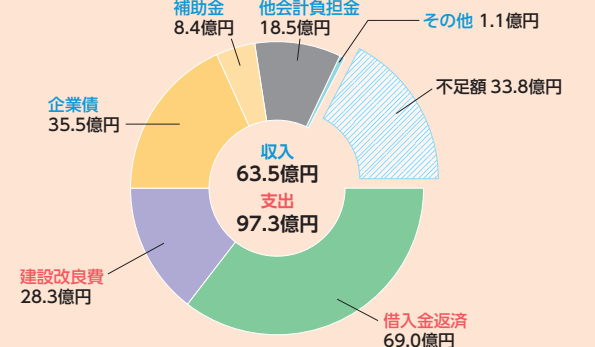
下水道事業では、快適な生活環境の確保と水質保全、浸水被害の軽減のために、古い污水管の更新などの維持管理、雨水管の整備工事等を行いました。

収益的収支(税抜き) (下水処理のための収入と支出)



純利益は翌年度以降の借入金返済や施設整備のため積み立てます。

資本的収支(税込み) (施設を整備するための収入と支出)



不足額は純利益や減価償却費等の非現金支出により積み立てられた内部留保資金で補てんされます。

主な事業

消化ガス発電設備を更新しました。



更新された発電設備(浄化センター敷地内)

浄化センターでは、下水処理の過程で発生する消化ガスを燃料として発電を行っています。このたびの更新で、発電効率が向上しました。現在は、処理場内で消費する電力の60%程度を賄い、省エネルギーに努めています。



地震で断水したら、どこで飲料水が手に入るの？

震度5弱以上の揺れで断水した場合、市内28箇所に**拠点給水所**を開設し、飲料水を提供します。

給水所の開設・運営には地域の方々や関係団体・企業のご協力をいただきます。

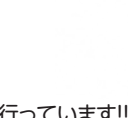


↑地域の方々や関係企業の方々と、有事に備えた訓練を行っています!!

拠点
給水所
マップ

お近くの
拠点給水所を
ご確認ください!!

Googleマップで
拠点給水所を
案内できます。



私たちにできることは？

ご家庭でできる
「**水道3つの備え**」をお願いします。

飲料水の備蓄
家族の人数×3ℓ×3日



必要量は1人あたり1日3ℓとされています。少なくとも3日分の9ℓは備えておきましょう。

風呂水のため置き
生活用水としての活用を!



風呂水はトイレの流し水や掃除、洗濯などの生活用水として利用できます。

容器の備え
自分が持ち運べるものを!



給水所で水をもらうための容器です。10ℓ程度の、無理なく運べるものをご用意ください。リュックにペットボトルを入れて持ち運ぶ方法もおすすです!

上下水道施設の耐震化の取り組み

上水道では、計画的に老朽化した水道管を地震に強い耐震管に入れ替えています。水道の基幹管路の耐震適合率は、令和6年度末時点で、69.2%です。これは、令和10年度までに60%以上にするという国の目標をすでに達成している状況です。下水道でも耐震化を行っているほか、地震に備えて污水管のマン

ホール浮上(液状化現象によってマンホールが地上に持ち上げられる)の防止対策を行っています。山形市では、緊急輸送道路のマンホールのうち液状化のおそれが高い箇所の対策工事を令和4年度で完了しています。これからも、上下一体での施設の耐震化を推進してまいります。

お問合せ／総務課防災係 TEL.645-1177(内223)

上下水道部トピックス

●経営等懇話会を開催しました

令和7年7月4日に、「広報」をテーマとした懇話会を開催し、昨年度実施したWEBアンケートの調査結果や、ホームページ及び広報の取組みについて、有識者や利用者から様々なご意見を頂きました。頂いたご意見は今後の経営に活かしてまいります。

経営等懇話会

山形市では、上下水道事業の経営等について、市民の皆様から広く意見を求め、事業の効率性と透明性の向上を図る目的で、対話を重視した懇話会を開催しています。今後は、上下水道事業の持続可能な経営を行うための適正な料金、計画など様々なテーマに対し意見をお伺いする予定です。



お問合せ／経営企画課
TEL.645-1177(内213)

●WEBアンケート実施中です ぜひご協力ください

市民の皆さまの声を把握し、サービスを向上させていくためにWEBアンケートを行っています。

対象者：山形市民
回答期間：令和7年11月1日から11月30日まで
所要時間：5分から10分
回答方法：Googleフォームでの回答となります。パソコン、スマートフォンどちらからでもご回答いただけます。

★回答者の中から抽選で
ギフトカードや防災グッズを進呈!

お問合せ／経営企画課
TEL.645-1177(内211、212)

アンケートは
こちらから

